

4月11日 金

基調講演 **新たな医療分野の研究開発体制**
K-9 **について**

9:30▶10:15



内閣官房 健康・医療戦略室企画官 奥野 真氏

政府は、革新的な医療技術の実用化の加速等を目指し、医療分野の研究開発の司令塔機能を創設するため、司令塔の本部として、内閣に、内閣総理大臣を本部長とする「健康・医療戦略推進本部」を設置し、一元的な研究管理の実務を担う独立行政法人「日本医療研究開発機構（仮称）」を設立することに向けた、政府の取組の現状を紹介する。

特別講演 **医薬品産業の変革期における**
K-10 **イノベーション創出**

11:30▶12:15



シミックホールディングス株式会社 代表取締役会長兼社長
薬学博士 中村 和男氏

昨今、急速にグローバル化や情報産業化が進み、製薬産業は大きな転換期を迎えている。患者さんからの情報がより重要視され、情報通信技術の進展やビッグデータの活用などが産業の仕組みに変革をもたらそうとしている。このような時代に新たなイノベーションを起こすには、もはや一企業では困難であり、様々なプレーヤーとの連携が必須となっている。このような状況を踏まえながら、医薬品を含むヘルスケア産業を俯瞰的に解説する。

特別講演 **医薬品産業を巡る現状と課題**
K-11

13:00▶13:45



厚生労働省 医政局 経済課長 城 克文氏

日本の医薬品産業の現状と課題について、特に2013年6月に策定された「医薬品産業ビジョン2013」、2013年4月に策定された「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」、及びこの春の薬価改定を中心に解説する。

特別講演 **“後発医薬品のさらなる使用促進**
K-12 **のためのロードマップ”実現への**
対応

15:00▶15:45



日本ジェネリック製薬協会 信頼性向上プロジェクト委員
東和薬品株式会社 常務取締役 常務執行役員 信頼性保証本部長
野口 豪氏

昨年「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」が厚生労働省から発出され、「後発医薬品の数量シェアを平成30年3月末までに60%以上にする」という目標が示された。GE薬協への加盟に関係なく、ジェネリック医薬品を製造もしくは販売する企業全てがこの目標達成に向かって努力しなければならない。今、各企業は何を求められているのか、特に原薬関連企業と製販企業が協力すべきことは何かを考えたい。